

同窓会報

さつなん

第32号

令和3年8月7日発行

編集・発行

薩南工業高等学校

同窓会事務局

印刷

ダイコー印刷(株)

099317212882

ご挨拶



同窓会長 橋口良一

日頃より同窓会員の皆様方には同窓会運営に対し、御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症防止から、全ての同窓会活動を中止せざるを得ませんでした。現在もその脅威は続いており、今年度の同窓会本部総会も中止の判断をしなければならず、会員の皆様との親睦を深めることがなかなかできないことを、誠に残念に思っています。

昨年度は、私を含め、事務局と校長先生との協議の上でコロナ禍の中ではございましたが、学校活性化のために次のようなことを実施いたしました。第一に正門付近の記念樹が成長し過ぎていたため、同窓生のお力を

お借りして整枝しました。年数が経ち、大きく成長した記念樹は管理が大変になることを痛感しました。

第二に、交通安全電光掲示板を南九州警察署正門横に設置しました。これは全校生徒の約半数が単通学生であり、私が交通安全協会の役員をしていることから、交通安全に対する意識啓発の為に製作しました。支柱の基礎工事は同窓生に依頼し、金属加工やイルミネーション等の電気工事、キャラクターの装飾といった作業を各学科から希望者を募り約二十名の生徒で制作しました。昨年の十二月二十四日に警察署員や関係生徒を合わせて約六十名で除幕式を行い、南日本新聞や鹿児島テレビに取り上げられ、話題になりました。また、野球部の毎朝の挨拶運動と併せて南九州警察署長から感謝状をいただきました。この電光掲示板が地域の方々を含め、交通安全に対する意識向上に

繋がりを、一件でも事故が少なくなることを祈念いたします。

第三に、同窓会のホームページを作成しました。課題となっている若年層の勧誘や、同窓会活動の連絡など、情報化社会においてインターネットを活用し、母校や同窓会活動を手軽に知ることができるとなっています。各支部の活性化とともに、同窓会活動に参加し易くなり、卒業してもなお母校と繋がっていられるという安心感を醸成できると思います。

第四に、今年度は知覧ねぶた祭が二十五年という節目の年にあたることから、本校は更に大きなねぶたを作製して祭り盛り上げたいと考えています。昨年十月に教頭先生と二人で知覧町との姉妹都市である青森県平川市を訪問し、本場のねぶたを見学し、いろいろと検討しましたが、経費や保管面から断念せざるを得ませんでした。知覧町内にある小中学校と高校の

児童生徒が、一台ずつねぶたを運行することができれば、地元貢献し、母校の活性化に繋がると思っています。昨年度はこのような活動を行いました。母校が活性化するように今年度も様々な活動を行って行きたいと思えます。

現在我が母校は、建築科、機械科、情報技術科、生活科学科の四学科ですが、少子高齢化の影響を受け、募集定員に満たっていない状況です。この状況が続くと、学校存続が危ぶまれます。学校長をはじめ、学校関係者、行政、地域と協力し、中学生が来たくなくなるような魅力のある学校にしなければなりません。そのため、同窓会として惜しみなく協力する所存です。同窓生の皆様にも更なる御支援をお願いいたします。

結びに、コロナ禍において同窓会活動がなかなかできない状況ですが、今後も母校のために同窓会としてできる活動を続け、薩南工業高校の歴史を後生に繋いで行きましよう。

同窓会会員の皆様方の御健勝と御多幸を祈念申し上げます。御挨拶といたします。

ご挨拶



学校長 堀之内 公郎

日頃から同窓会会員の皆様には、母校の教育活動に對しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。また、皆様からの物心両面に渡る暖かい御支援をいただき、学校を代表して、改めて御礼申し上げます。

私事ですが、四月に赴任してまいりました。三回目の赴任となり、過去九年間、建築科の職員として、勤務した経験があります。この経験を生かして、これから、学校・地域のお役に立てるよう精一杯努めさせていただきます。今年度は、創立百二十周年目の年となりました。長い歴史と良き伝統を持つ学校として、現在は、建築科・機械科・情報技術科の工業に関する三学科と、生活科学科の家庭に関する学科の計四学科を設置しています。今年度は、八十二名の入学生を迎えました。現在、男子生徒二〇七名、女子生徒八十二名、合計二八九

名が在籍しており、昨年度に比べ、生徒数が四十名減少し、定員の約六割の充足率となっております。今後、皆様方の応援をいただきながら、少しでも充足率が高くなるよう、魅力ある学校作りを取り組んでまいります。さて、今年三月の卒業生は、県内外から多くの求人をいただいて、希望通りの進路実現を達成しました。これもひとえに一万八千二百名を超える卒業生の皆様方の御活躍のお蔭と感謝しております。卒業生一同は、凛々しく希望に満ちた表情と、立派な態度で、無事旅立って行きました。皆様のお近くに参りましたら、どうぞよろしくお願いたします。

現在、生徒は、歴史と伝統を大切にしながら、「自主・向学・和協」の校訓を踏まえ、「何事にも明るく活動する学校」として、部活動や日頃の学習活動に頑張っております。我々教職員一同も進路指導の充実を図りながら、生徒の進路実現に向けて、一層の支援を続けてまいります。

しばらくは、コロナ禍での厳しい状況が続きますが、感染対策を十分に行い、学校一丸となって一人一人を大切にすることを心がけてまいります。薩南魂と矜持を忘れることなく前進していきたいと考えております。どうか今後とも母校へのより一層の御支援・御協力をよろしくお願いたします。

最後に、同窓会会員の皆様方の益々の御健勝と御多幸、ならびに同窓会のさらなる御発展を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

様々な教育活動については、学校ホームページやブログで随時紹介しておりますので、是非ご覧ください。



# 支部だより

## 関東

### 関東支部報告

母校設立百十周年の記念行事を無事終了したことに敬意を申し上げます。コロナ禍の収束が見えない現況ですが、来年は関東支部発足六十五周年を迎えるにあたり役員一同精力的に活動していきます。

「歴史と伝統の構築や会報誌の継続編集」を命題に、母校と交流をとりながら取り組んでいます。活動には母校とのきずなや本部同窓会との連携が欠かせません。引き続き同窓会本部のご支援をよろしくお願い申し上げます。

さて令和二年は、総会中止となり令和元年度の総会・懇親会などその模様を皆様へご報告できませんでした。そのため、関東支部では有志により写真集として創立百十周年の母校での記念行事を含めその内容をまとめ作成いたしました。(A4フルカラー50項) 見本は今年の総会(十月二日)で閲覧・販売をいたします。

ここで、現在の支部活動として注力している内容を三点ご紹介いたします。

一、次世代の新たなステージに向け、新卒者や若手会員並びに既卒者の加入促進

二、関東さつなん「会報誌」発刊の継続

三、会員の仕事に係る情報の提供

具合的な例として

● 母校のホームページに支部ホームページをリンク・女性部会の新設・会報誌紙面の工夫・会員の仕事に係る情報の提供などです。

今年の「関東さつなん」会

報誌第三十四号(編集は電気・情報技術科)では「同窓生の仕事に係る一部活動を掲載いたしました。

● 街づくりに取り組む活躍

「震災を乗り越えて! 次の世代へ!」国登録有形文化財「武蔵屋まちかど博物館」館長兼保存代表 岩井宗志氏(昭和四十年機械科卒)「また「私たちの仕事展」平山正義氏(昭和四十九年建築科卒)」として建築家の作品展を掲載しております。いずれも支部会員が励まされる記事内容であると確信しています。今回の会報誌第三十四号の紙面も母校とのきずなや会員

の活躍、読者の広場(講読者からの感想)など進化した情報を全国の皆様へお届けできることに、編集委員として自慢できるとともに誇りと考えています。

今後、支部会員の経験した仕事「私の仕事」や「先輩方仕事コーナー」など生徒たちの励みとなるように、イベントとして母校において展示やその講演ができることを考えています。これらのことを通して「学びわすれたこと」をご紹介できる機会をご相談を進めていきたいと存じます。

今後とも関東支部へのご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

関東支部常任幹事長  
草原睦雄/記  
(昭和46年建築家卒)



母校校舎全景・S48年機械科卒 田中逸穂氏の模写



武蔵屋まちかど博物館 (千葉県印西市)

私薩南工業高校の建築科を進学先に希望したのは、土木科や金属工業科へ在籍していた従兄たちが、学校生活やクラブ活動、日新寮での生活を面白おかしく話してくれたり、就職募集が生徒一人当たり十社近くあるなど、就職先が豊富にあるとの情報からでした。

私薩南工業高校の建築科を土木、地質工学、金属工業、電気が一クラスずつ、機械が二クラスの七クラス。次年度からは地質工学、金属工業の募集がなくなり、機械が三クラスになりましたが、クラブ活動も盛んで活気に満ちていたように思えます。昭和五十年の建築科入學は三十一人と少なく、女子はその内三人でした。他に女子は建築科にだけ、三年に四人、二年に一人、また、先輩である助手の先生お一人。一年後輩に二人、二年後輩は〇でしたが、教室やクラブ活動、通学のバスやお昼のお弁当などに集まるのが多く、女子が少ないことで心細い思いもせず、楽しい三年間でした。製図や測量、実習などの専門授業。体育の授業では柔道やラグビーなども経験できたこと。また、迫力ある体育祭、水泳大会など工業高校ならではの貴重な学生生活でした。

残念ながら不況のあおりで、三年になった時の就職募集は一人一社程度しかありませんでしたが、県内と名古屋に二人ずつ、残り関西と関東に半分ずつ就職しました。

近畿支部同窓会への参加は、職場の先輩が役員をされていたので、すぐに役員を仰せつかり現在に至っています。当時は百人以上の普段お会いすることのない先輩方の集まりに躊躇するものもありましたが、本部長長



私たちの仕事展 (横浜市)



関東支部事務局 (昭島市) での役員会

## 近畿

### 薩南の思ふ30年同窓会

学校長などから学校の近況をお伺いし、戦後まもなく就職された先輩や、建築士として活躍の女性先輩などのお話、母校を思う皆さんの話が聞けて励まされました。また、なじみある校歌のほか、詩吟の入った旧校歌の合唱など毎回楽しみます。後輩の参加を促せず、参加者が減少してはいますが、クラス会を兼ねて参加してくださるグループもあります。クラスや職場などで誘い合わせていただき参加者の拡大が近畿支部の当面の課題です。

コロナの影響で今年の開催は中止となりましたが、これから母校を応援できる同窓会支部の一員としてつながっていきたいと思います。

近畿支部・倉持千鶴/記  
(昭和53年建築科卒)



卒業アルバムから



体育祭

## 鹿児島

### 懐かき母校の思ふ30年

今年四月、母が他界し、帰らぬ人となった。昨年十一月から枕崎の病院に入院し、半年足らずの闘病生活だった。以前は月に一度、実家に帰っていたが、母の入院後は父の様子も気になり、毎週のように足を運んだ。しかし、母の見舞いに病院に行くこと、コロナの影響で思うように面会することができず、そのことが悔やまれてならない。

その鹿児島市内から実家への行き帰り、母校の前を通ると、車窓からは見えるはずの生徒の姿はなく、ひっそりとしていた。また、我々の頃、自転車置場や部室があった西側には、生活科学科の校舎が建ち、正門付近には横断幕が張られ、後輩達の活躍ぶりを何かせている。学生当時に思いを馳せると思い出されるのは、体育祭前の応援練習。昼休みを利用して全学科、それぞれ三年生が指揮し、練習したものだ。今でも覚えている体育祭応援歌は、いつでも口ずさむことができる。

「我ら薩南 ど根性 その名も高き機械科よ ドカチンでっどんにゃ 負けられぬ ビリビリ電気 遠慮はいらぬ」。今では無くなってしまった土木科や電気科を含め、他科をけなす独特の歌詞はなつかしい。また、それぞれの陣地後ろに建てる伝統のデコ(デコレーション)作りは、各学科の特色を生かした物が作られ、我ら三組はスペースシャトル チャレンジヤー号が宇宙から無事帰還し、まさにタッチダウンする様子を造型した。

近くの裏山から孟宗竹を切出し、シャトルの胴体を支える柱の穴掘りから始まり、竹を割って骨組みを作り、その上に白紙を貼って、実寸から割り出した縮小サイズに仕上げた。最後に要所を黒く着色し、体育祭当日、自宅で書いた出入用ハッチや窓枠、そして United States と Chaired Stair の文字を貼り終え、本物そっくり?に完成した姿に全員で達成感を味わった。

放課後や土日を使って作業した後は、お腹も減り、帰宅途中、知覧税務署前であった総菜屋さんで、揚げ立てのコロッケを買って食べた味も忘れられない。月日は早いもので、今年五十六歳を迎え、定年も近づいた今、高校時代三年間お世話になった今は亡き常松先生をはじめ、恩師の方々の年齢になって母校を思い返すとあの頃が懐かしく、コロナ禍で飲ん方もできない世の中だが、還暦には同級生と杯を交わせる世の中に戻ってほしいものだ。

鹿児島支部・上野清久/記  
(昭和59年機械科卒)



除草作業



昭和58年 体育祭

# 知覧

今こそ薩南パワーを。



昭和五十一年に卒業し、東京のNTT(旧・日本電信電話公社)へ入社して以来、平成二十二年に故郷の知覧へ帰ってきま

の皆様の方で南九州に企業誘致のお手伝いもお願いしたいところでありたい。そんなことをお願いする私は、電気科卒業のわりに長年事務屋でしたので、地元にも何も持って帰れませんでした。技術職で頑張っていたが、OBの皆様、薩南工業の生徒が地元で頑張れる機会を是非とも作ってやってくれたい。都会の一極集中ではなく、今こそ地方分散、地方創生へのきっかけを薩南パワーで築けたらと思います。

## 知覧支部・取違博文/記 (昭和51年電気科卒)



## あれから四十二年、建築卒業

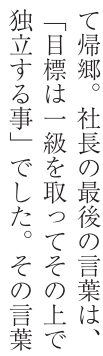
お陰様で、南九州での仕事経験は無かったのですが、母校の皆様、沢山の同級生の皆様と出会う事が出来ました。そんな中、先日薩南工業の生徒たちが作成した、交通安全の電光掲示板が南九州警察署に寄贈され、警察署前に設置されているのを拝見して、非常に嬉しい思いがありました。市議会議員という仕事をしながら、日々の南九州市を観察させていただき、何か南九州市を活性化させる起爆剤はないものかと常に思っております。地元のまじや自分の母校の生徒たちが、地元のために一生懸命活動してくれることは、とても頼もしいことです。

三月二十五日西駅発、寝台特急明星夜七時、同級生二人と兵庫西宮市に向けて人生の新たなスタートがあの日切られました。一人の同級生は友人らに胴上げされ、途中で駅員らにストップをかけられやむなく中止。私は次の胴上げ候補でしたがホッとしたというのが正直でした。県外に出たことのない私が、あくる日三宮駅で見たものは衝撃でした。道路の上を道路が走っている！こんなところで生活しているのだろうか？不安に襲われたのは言うまでもありません。

西宮市の早川設計事務所就職、建築設計・土木設計・登記測量・行政書士業務、あらゆる業態での全部をこなす日が始まりました。当時測量機械は光波測距儀は無く、トランシットとレベル又平板を駆使して時間をかけての業務で、入社すぐは日中、ゴルフ場の開発での山中の

現場でのこの三つを懇々と使わないで済むが使命で帰社後、夜は建築住宅の確認申請用の図面の作成と確認申請書と更に、社長から四階建マンションの構造計算の手計算の訓練の期限付き宿題、同期の大学出身のもう一人と黙々とその一日に取りつかれた日々を過ごしたものでした。寮に帰るのは早くも二十三日遅くなる午前二時。寮と言っても風呂なし、朝、昼、夜飯無し、自炊設備無し。風呂は一週間に一度近くの銭湯。朝飯抜きやがて一年、二年と日が経つにつれてその生活が当たり前の事となり、仕事も幅が広がります。金と報酬交渉や請求及び集金ととにかく何でも出来る事が必要だと社長のこれでもかと言わんばかりの教えをもらいました。その修行を十年四月月曜日に帰郷。社長の最後の言葉は、「目標は一級を取ってその上で独立する事」でした。その言葉通り三十五歳で一級建築設計事務所設立を果たし、それから二十五年、昨年六十歳を迎えて三人の子育てが終わりました。自分の中でゴルフレーブを切った感覚、充実感溢れる思いのこころで建築も定年で良いのではの問いかけに振り返り、真面目に一生懸命逃げ出すこともなく四十二年間挑戦してきた自分、新たな人生をスタートさせよう

## 生涯学習、地元愛、人間の本质



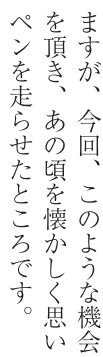
## 加世田

その頃の薩南高校は男子校でしたが、唯一建築科に女子が確か三名いたと記憶しています。今ふうには「マドンナ」的存在だったのかも知れませんが、その当時は相当の覚悟が必要だったろうし、大変な学園生活だったろうと思う事です。今は、いいお母さんになってる事でしょう。

生後、後輩の付き合い方もあり、その頃の付き合い方が、社会人になってからも非常に私には「プラス」に働いています。今でも薩南高校の先輩・後輩の付き合いは、学生時代と変わっていないように思います。年に一回支部総会があり、今まであまり話した事のない方々と、こうした機会がある事が、時を忘れていくつになっても学生時代を思い出し、話が尽きる事のない夜を過ごせる喜びを感じています。

これからは手を入れてこそ果実が実るように頑張ります。日置支部・諏訪貞吉/記 (昭和54年建築科卒)

## 嗚呼・青春



## 加世田

薩南高校を昭和五十一年三月に卒業して、四十年以上が過ぎますが、今回、このような機会を頂き、あの頃を懐かしく思いペンを走らせたところです。私が通学しているころは、バイクの免許を取るまでは、自転車通学を自宅から一時間三十分かけて通学してました。先輩も皆そうして来ていたので、一時間三十分かけて通学する事には何の抵抗もなかったし、ここを乗り越えればバイクに乗れるという目的があった事で、一時間三十分の道のりも、友と一緒に通う中では楽しい時間でした。

同窓生が、母校の発展及び、会員相互の連帯のために運営して参りますので、今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いたします。

## 母校のホームページを作りました!



同窓会報誌「会報さつなん」は毎年約1,000部発行しております。しかし、手にしていただいているのは、各支部に所属している会員の皆様のみであり、支部に所属していない会員の方々には母校の活動や、総会・懇親会等の情報を共有することができませんでした。そんな状況を改善するために製作したのが今回のホームページです。多くの人にホームページをご覧いただき、同窓会や各支部の情報をお届けするとともに、母校を軸に多くの方が繋がっていただけたら幸いです。

また、企業広告も募集しています。母校を支援してくださる方は、ホームページの企業広告案内をご覧ください、お申し込みください。

微力ではございますが、母校の発展及び、会員相互の連帯のために運営して参りますので、今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いたします。

### 薩南同窓会ホームページ

URL <https://satsunanob.jp/>

「薩南同窓会」「薩南工業同窓会」などのキーワードでも検索できます。



## 企業広告について

今年度から、企業広告の掲載はホームページ上で行います。詳細はホームページをご覧ください。

基本的には4月から翌年の3月末日までの掲載で、広告料を年間5,000円といたしました。今年度の掲載が9月から翌年の3月末日までとなるため、3,000円といたします。

同窓会の活動費から考えますと、年々生徒数が減り、同窓会の収入源である、永年会費が減っています。そのほかの収入源は会報誌の広告料です。その企業広告をホームページに掲載することで、会報誌のページを減らし、会報誌製作の費用を切り詰めることと、年間通してインターネット上で企業広告ができるので、企業様にとってもメリットがあると思います。

今後も同窓会が母校を、そして在校生を支援していきたいという思いで製作しましたので、御理解の上、皆様の御協力をいただきたく存じます。

よろしくお願いたします。

### 機械科

新型コロナウイルス感染症が心配された進路への影響は限定的で、無事に卒業生を送り出すことができました。機械科の卒業生は、33名中26名（関東6名、中京2名、関西3名、中国2名、九州4名、県内9名）が就職、6名が進学でした。機械関係に限らず、多様な進路選択が行われるようになって参りました。従来のものづくりに新しい感覚を組み合わせた創造性の開発も課題になるかもしれません。在籍は、3年生38名、2年生27名、1年生25名です。

日々の学習や部活動に加えて、資格試験や講習、ものづくりの活動に精進しています。写真は課題研究の取組で、鹿児島大学の高山先生が「野生鳥獣被害防止に向けた行動学的アプローチ」と題して生徒に講演を行っている様子です。また、6月に行われたものづくりコンテスト鹿児島県大会（溶接部門）に、ものづくり地域連携部機械工作班の2年生が出場し、団体で最優秀賞、個人で最優秀賞・優秀賞・優良賞をいただき、8月の九州大会に出場いたします。

今年は、感染症対策が行われる中で、部活動や学校行事が行われています。感染拡大防止に必要な知識としての「三密を避ける」「手洗い・消毒とマスク着用」を行動に結びつけたり、リモートやタブレットを活用した授業や活動が行われていたりしています。実習や課題研究などの実技や実際の活動は現在も行われています。

科学や技術を進化させてきた人類がウイルスに苦しめられていますが、新たな技術であるワクチンの接種が進むことで、一日も早く日常が取り戻されることが期待されます。

産業現場での危機管理や安全作業に加えて、仕事の段取りや作業の変化に対応できる人材の育成を今後も考えていかなければなりません。

同窓生の皆様におかれましては、次世代を担う生徒への示唆を与えていただきますと共に、今後の御活躍と御多幸を祈念いたします。



CAD・CAM実習



ものづくりコンテスト県大会表彰者



講演



旋盤実習

### 生活科学科

同窓会の皆さまには、平素より生活科学科に対して御支援御協力いただきまして、深くお礼申し上げます。

令和3年度は1年生23名、2年生26名、3年生21名の合計70名が在籍しております。

昨年度の進路状況は、11名が就職、17名が進学でした。就職試験も1ヶ月遅れ、応募前見学等もできない中でしたが、全員が希望する事業所に合格することができました。就職先は県内5名、県外6名で、例年に比べて県内希望が多かったようです。進学16名についても県内の大学や短大への進学が9名と半数以上を占めています。就職をする前に、技術や知識を身につけようと専門学校等への進学を希望する生徒も年々増えているように思います。

また、本学科では日頃の学習活動の目標として家庭科技術検定の取得を目指しております。1年次には被服・食物の4、3級を、2年次には被服・食物の2級の他に保育検定の4、3級を、そして3年次には被服の和服1級、洋服1級、食物1級の3種類の1級取得を全員で目標にして、放課後や夏休みなど練習を重ねました。全員合格というわけにはいきませんが、16名もの生徒が合格することができました。また、鹿児島県でも1人しか取得していなかった保育の1級まであわせて取得する【四冠王】に4名の生徒がチャレンジして合格することができました。同窓会より横断幕作成していただきました。ありがとうございます。

今後とも、地域の皆様、同窓生の皆様に温かいご支援をいただきながら、社会に貢献し、活躍できる人材育成に努めてまいります。



実習で使った布の端切れでマスクを製作し南九州市の方に使っていただきました。



コロナ下の中制作したドレスでファッションショーをしました。



制作したゆかたを自分で着付けまでできるようになりファッションショーをしました。

### 建築科

同窓会の皆様には、日頃よりご支援ご協力いただき深く感謝しております。

今年度の建築科は、18名の新入生を迎えて計67名の生徒が在籍しております。近年、建設業界が後継者不足に直面している中で、全体的な児童生徒の減少は、私達建築科にとって大きな課題であり、生徒確保に繋がる取り組みの重要性と、責任の重さを痛感しているところです。

現在建築科では、資格取得に向けた取り組みに力を入れています。昨年度は、国家試験である2級建築施工管理技術検定試験に13名の生徒が合格しました。その中で9名は建築を学んでもいない2年生で、授業で習っていない範囲を放課後の補習と互いに競い合うことで克服し、合格を手にすることが出来ました。今年度からは更に2級建築士の補習も始め、3年生の希望者が来年の7月受験に向けて日々取り組んでいます。

また設計の分野では、牧之内康平君が県の設計競技で第1位となる金賞を受賞。他にも複数の入賞を頂きました。

他にも課題研究では、製作した木工作品を近隣の施設等へ寄贈しており、地域貢献を通して、ものづくりの素晴らしさを学んでいます。

現生徒だけでなく卒業生の活躍も続いています。一昨年の学生設計全国一位に続き、昨年度も技能日本一を競う「技能五輪全国大会建築大工部門」で2名の卒業生が快挙を達成しました。西玲也君（住友林業エンジニアリング勤務）が全国2位の銀賞、田代悠太君（ポラスハウジング勤務）が敢闘賞を受賞。今後の活躍を願っています。

今後、先輩方が育てられてきた本校の良き伝統を継承し、やがて社会を支える人材に成長してほしいと願っています。

最後に、同窓生の皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。



2級建築施工管理技術検定試験合格者

### 情報技術科

同窓会の皆様には、平素よりご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

情報技術科は、平成3年に設置されて以来、情報技術・電気技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、電気・情報関係だけでなく、幅広く工業の様々な分野に対応し得る技術者の育成に努めています。近年情報分野に対する改革はめまぐるしいものがあり、また、このコロナ渦の中、高齢化の進む中、ますます情報技術者が必要となっており、技術者不足に拍車がかかってきています。AIをはじめ、高度なコンピュータの技術があらゆる業種で活用され、私たちの生活の中に浸透してきています。実習や課題研究を通して、基礎的な力とともに実践力や問題解決能力やコミュニケーション能力を身に付け、時代の急激な変化にも対応できる人材の育成を目指しています。また、キャリア形成に役立つように各種資格検定の取得を奨励しています。

資格取得について、昨年度は、新型コロナウイルスの関係で、国家試験が中止や延期となり満足に受験をすることさえできない状況がありましたが、そんな状況下でも、限りある受験機会を活かして、さらに、学業や部活動、学校行事もある中、朝や放課後、休日等の時間を利用して補習をすることにより、危険物取扱者試験、第二種電気工事士、などの国家資格にも、全国平均を上回る合格率で、多数の合格者を輩出することができました。また、国家資格以外にも、計算技術検定や情報技術検定、パソコン利用技術検定などの各種検定試験にも力を入れており、知識や技術はもろろんのこと、資格試験に向けての準備や心構えなど、計画性も身に付けさせています。

専門的な技術者を育成していく取組の一環として、高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会に毎年出場しております。今年度もコロナ渦の中、2年生が出場したものの、残念ながら入賞はなりませんでしたが、参加した生徒は、ものづくりに対する姿勢や準備や考え方など、非常に得られるものがあったと申しております。今年度大会に出場した生徒は、全員2年生です。来年度は上位入賞を目指して取り組んでいきたいと考えておりますので、機会がございましたら同窓会の皆様からも、ご支援やご指導をいただければ幸いです。

昨年度の進路状況は、例年同様に、自動車関連業種や電子部品の製造、電力設備関連や4年制大学や専門学校など、幅広い分野に進学・就職することができました。今後の活躍が期待されるところです。

現在、情報技術科は、1年生16名（内女子3名）、2年生20名（内女子1名）、3年生26名（内女子1名）の計62名（内女子5名）が在籍しております。今後も、全国で活躍されている諸先輩方につけ負けないように、世の中の進歩に合わせて発展していく情報技術科を目指して日々取り組んでいきたいと思っております。

最後に、同窓会の皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



ものづくり電子回路部門



環境文化の聞き書き事業



課題研究発表



交通点灯式



電気工事実習

### 令和2年度 会務報告

令和2年

- 4月7日 母校入学式 【橋口会長】
- 4月24日 会計監査（校長室） 【古屋氏・中木原氏】
- 5月8日 第1回役員会（中止）
- 5月15日 母校教職員歓迎会（中止）
- 6月13日 記念樹枝落とし
- 7月17日 第1回本部役員会書面表決資料配付
- 7月31日 第1回本部役員会書面表決資料訂正版配付
- 8月1日 本部総会（中止）
- 8月3日 交通安全看板清掃
- 8月16日 第1回本部役員会書面表決返信締め切り
- 8月21日 第1回本部役員会書面表決回答
- 9月4日 体育祭 【橋口会長・佐多副会長・大坪副会長】
- 9月12日 記念樹枝落とし
- 10月20日 ねぶた現地視察（～22日） 【橋口会長・寶藏教頭】
- 12月22日 交通安全LED電飾看板点灯式（南九州警察署）

令和3年

- 2月6日 ホームページ立ち上げ
- 2月18日 正副会長会 【橋口会長・松元副会長・田中副会長  
本村副会長・赤崎副会長】
- 2月26日 同窓会入会式 【橋口会長】
- 3月1日 母校第71回卒業式 【橋口会長】
- 3月26日 母校教職員送別会（中止）

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本部総会、及び各支部総会は中止になりました。

### 令和2年度 特別会計決算書

○ねぶた通帳 (単位：円)

費目	収入	支出	残高	備考
前年度繰越金	30,682		30,682	
解約		30,682	0	同窓会活動費へ繰り入れ
合計	30,682	30,682	0	通帳解約

○生徒活性化資金

費目	収入	支出	残高	備考
前年度繰越金	18,917		18,917	
解約		18,917	0	同窓会活動費へ繰り入れ
合計	18,917	18,917	0	通帳解約

○生徒奨励金

費目	収入	支出	残高	備考
前年度繰越金	3,005,984		3,005,984	創立100周年記念事業から継続の生徒奨励金
利息	255		3,006,239	
合計	3,006,239	0	3,006,239	次年度へ繰り越し

### 同窓会所有通帳

通帳	金融機関名	貯金種類	口座番号	残高
同窓会活動費通帳	JAバンク	普通	0057550	1,442,702
ねぶた通帳	JAバンク	普通	0072191	0 (通帳解約)
生徒活性化資金通帳	鹿児島銀行	普通	321717	0 (通帳解約)
生徒奨励金通帳	南日本銀行	定期	1033042	3,006,239
同窓会所有通帳残高合計				4,448,941

### 令和2年度 同窓会活動費決算書

○収入の部 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差額	備考
前年度繰越金	197,249	197,249	0	
永年会費	456,000	448,000	-8,000	4,000円×112名(卒業生)
支部協賛費	0	0	0	今年度は徴収しない
支部広告費	0	0	0	今年度は徴収しない
特別会計繰入	49,599	49,599	0	ねぶた通帳(30,682円) 生徒活性化資金通帳(18,917円)
雑収入	1,187,152	1,530,144	342,992	貯金利息・名簿販売 交通看板制作費(300,000円) 創立110周年記念事業残金繰入(1,173,676円)
合計	1,890,000	2,224,992	334,992	

○支出の部

費目	予算額	決算額	差額	備考
総会費	60,000	0	60,000	コロナウイルス感染拡大予防のため中止、支出なし
会議費	50,000	0	50,000	コロナウイルス感染拡大予防のため中止、支出なし
支部連絡費	160,000	0	160,000	各支部総会はコロナウイルス感染拡大予防のため中止、支出なし
交通費	400,000	0	400,000	各支部総会中止のため支出なし
会報発行費	100,000	124,300	-24,300	会報「さつなん」31号広告ページ増に伴い増額
生徒活動補助費	300,000	0	300,000	大会など中止のため支出なし
ねぶた祭活動費	100,000	145,038	-45,038	ねぶた視察旅費、経費
交際費	80,000	24,000	56,000	転退職者への餞別(8名×3,000円)
慶弔費	30,000	21,000	9,000	花輪、香典
事務費	70,000	55,113	14,887	資料郵送代、会報郵送代、事務員費(本校事務員に同窓会会計の出入金を依頼)
雑費	50,000	402,839	-352,839	懸垂幕、横断幕、交通看板製作、卒業アルバム代等
予備費	490,000	10,000	480,000	会員名簿払い込み
合計	1,890,000	782,290	1,107,710	

収入 2,224,992円 - 支出 782,290円 = 残高 1,442,702円 (次年度へ繰り越し)

### 令和2年度 会計監査報告

令和2年度同窓会活動費会計、及び特別会計について、会計出納簿、証拠書類、貯金通帳並びに関係書類に基づいて監査いたしました。適正に執行され、いずれも違算なく処理されていると認めました。

令和3年4月23日

会計監査人：中崎 祐二・古屋 純次・中木原 司

※署名、捺印は個人情報保護のため掲載を控えてさせていただきます。原本確認をご希望の方は、本部事務局へお問い合わせください。

### 本部事務局から

今年度も新型コロナウイルスの影響で役員会、及び本部総会を中止いたしました。役員会は昨年度に倣い、書面表決にて実施いたしました。同窓会長+役員9名の計10名による書面表決の結果、全協議を過半数以上が賛成し、可決いたしました。よって昨年度の活動と今年度の活動は標記の通りとなります。

### 令和3年度同窓会活動費予算

○収入の部 (単位：円)

費目	令和2年度予算額	令和3年度予算額	差額	備考
前年度繰越金	197,249	1,442,702	1,245,453	
永年会費	456,000	440,000	-16,000	4,000円×110名(卒業予定)
支部協賛費	0	0	0	※1 今年度は徴収しない
支部広告費	0	0	0	※2 令和3年度からホームページ広報費へ移行する
ホームページ広報費	0	100,000	100,000	※3 令和3年度から運用する
特別会計繰入	49,599	0	-49,599	
雑収入	1,187,152	7,298	-1,179,854	貯金利息・名簿販売
合計	1,890,000	1,990,000	100,000	

※1 支部協賛費はコロナウイルスで活動が難しいため今年度は徴収しない。  
※2 会報誌のページ削減による予算削減と企業広告の範囲を拡大するため会報誌の広告を無くし、ホームページでの掲載に移行する。  
※3 令和3年度から運用し、初年度の目標金額。

○支出の部

費目	令和2年度予算額	令和3年度予算額	差額	備考
総会費	60,000	60,000	0	総会費補助。総会景品代。看板製作代
会議費	50,000	50,000	0	役員会・正副会長会・懇親会等会費補助
支部連絡費	160,000	0	-160,000	※4 支部賛助金へ名称変更
※4 支部賛助金	0	160,000	160,000	支部総会等への賛助金(神奈川、関東、中京、福岡、鹿児島、白瀬、川辺、加世田、知覧、加古川)
交通費	400,000	400,000	0	支部総会参加者旅費、宿泊費
会報発行費	100,000	100,000	0	会報「さつなん」32号発行代
生徒活動補助費	300,000	300,000	0	部活動九州大会・全国大会等出場への旅費宿泊費補助
ねぶた祭活動費	100,000	100,000	0	ねぶた賛助金、弁当飲み物代
※5 ホームページ運営費	0	130,000	130,000	ホームページ作成費用(100,000円) サーバー契約初期費用(1,048円) サーバー初期設定費用(15,000円) サーバー年間費用(5,238円) ドメイン年間費用(5,780円)
※6 学校整備費	0	100,000	100,000	学校施設整備代等
交際費	80,000	80,000	0	転退職会等出会費、転退職者餞別、花代
慶弔費	30,000	30,000	0	
事務費	70,000	70,000	0	資料郵送代、会報郵送代、事務員費(本校事務員に同窓会会計の出入金を依頼)
雑費	50,000	50,000	0	卒業アルバム代等
予備費	490,000	360,000	-130,000	
合計	1,890,000	1,990,000	100,000	

※4 支部連絡費を支部賛助金へ名称変更した。  
※5 ホームページ作成費用、サーバー契約初期費用、サーバー初期設定費用は初回のみ支払。  
サーバー年間費用は毎年支払。ドメイン年間費用は隔年で支払。  
※6 今年度新しく追加した費目。学校整備を支援する活動の予算。  
{今年度もコロナ感染予防のため、各支部総会を中止する支部もあるかと思いますが、会議費や旅費等は例年通りに予算に入れました。また、その他費目も例年通りに予算組みしています。}

### 令和3年度活動方針

- 1 本部と支部との連携を密にして、同窓会活動の振興を図る。
- 2 母校の発展に寄与する。

### 令和3年度事業計画

- 1 支部活動の振興
- 2 会報「さつなん」第32号の発行
- 3 部活動の後援及び施設設備・学校環境改善に関する事業の推進

# 令和2年度 卒業生の進路状況

進路指導部

## (1) 各学科進路状況

学 科	卒業 者数	就 職						進 学					未 決 定	
		小 計	学 校 紹 介				公 務 員	自 己 縁 故 自 営	小 計	大 学	短 大	職 業 高 等 専 修 学 校		専 修 各 種
			県 内	県 外	男 子	女 子								
建 築	33	22	8	8	3	3	10	1		1	8	1		
機 械	33	27	7	17	2	1	6			3	3			
情報技術	19	16	7	8	1		3	1			2			
生活科学	27	11		4	6	1	16	1	8		7			
計	112	76	22	4	33	7	5	5	35	3	8	4	20	1
就職進学比率	就職：68.5%						進学：31.5%							
県内外比率	県内：53.1% (59名)						県外：46.8% (52名)							

## (2) 就職先（業種別）

	令和元年度	令和2年度
製造業	50名	35名
自動車	18名	9名
鉄鋼	11名	4名
その他製造	21名	22名
事務・サービス他	10名	13名
建設業	10名	11名
電力・設備	4名	7名
		公務員 5名

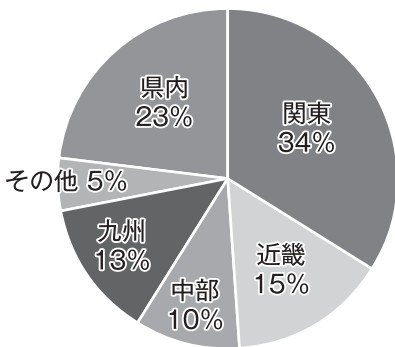
## (3) 就職先（地区別）

	令和元年度	令和2年度
鹿児島県	24名	26名
南九州市	9名	12名
鹿児島市	8名	5名
霧島市	3名	3名
薩摩川内市	2名	2名
日置市	1名	2名
枕崎市	1名	1名
		薩摩郡 1名
関 東	16名	16名
九 州	11名	8名
近 畿	10名	7名
中 部	6名	7名
中 国	3名	2名

## (4) 求人状況

年 度	H28	H29	H30	R1	R2	前年度比
求人総数	1,526	1,633	1,953	2,086	1,993	95.5%
関 東	585	584	712	763	665	87.2%
近 畿	260	232	285	346	293	84.7%
中 部	189	178	221	195	187	95.9%
九 州	135	191	215	212	245	115.6%
その他	59	92	82	86	102	118.6%
県 内	298	356	438	484	441	91.1%

令和2年度 地区別求人割合



※その他：北海道・東北・中国・四国の合計

## 令和3年度の進路状況について

昨年度より3年生はコロナ禍での進路選択を強いられ、様々なことで例年通りの進路活動ができない厳しい状況となりました。特に昨年度は就職選考開始が1ヶ月後ろ倒しになり、スケジュールについても大きく変更になった1年でした。その様な状況の中でしたが、各界でご活躍なさっている同窓会の皆様方ならびに本校の歴史と伝統のお陰もありまして、求人状況は前年度と比較しましても大きく減ることなく就職選考を迎え、多くの生徒が内定を勝ち取ることができました。

今年度は就職選考開始も9月16日に戻り、従来通りのスケジュールで実施されることが決まっております。いよいよ7月1日から学校での求人票の受付が始まります。この夏も猛暑となりそうですが、3年生は暑さに負けず、就職試験や入学試験に向けて励んでくれることと思います。我々職員も一丸となって生徒全員の進路決定へ向けてサポートしていきたいと考えております。

## (1) 内定企業一覧（県内26名、県外40名）

(A：建築科, M：機械科, J：情報技術科, L：生活科学科)

業種	科	企 業 名	所在地	業種	科	企 業 名	所在地
自動車	M	いすゞ自動車(株)	東 京	建 設	M	オーシャンロード(株)	福 岡
	M	タイハツ工業(株)本社	大 阪		A	(株)オリオン総合設備	福 岡
	L	(株)デンソー	愛 知		A	関東建設工業(株)	群 馬
	J	トヨタ自動車(株)	愛 知		A	(株)久保工務店 2名	日置市
	M	トヨタ車体(株)	愛 知		A	ケイアイスター不動産(株)	埼 玉
	M	日産自動車(株) 2名	神奈川		A	佐藤工業(株)	東 京
	J	ビューテック(株)	愛 知		A	(株)新生組	鹿児島市
M	マツダ(株)	広 島	A	(株)北洋建設	福 岡		
鉄 鋼	A	合同製鉄(株)大阪製造所	大 阪	A	(株)堀之内工務店 2名	鹿児島市	
	M	日鉄鋼板(株)西日本製造所	兵 庫	A	(株)マツダ・シティーズ	大 阪	
	M	日鉄テックスエンジニア(株)名古屋支店	愛 知	A	丸福建設(株)	鹿児島市	
	M	濱田重工(株)君津支店	千 葉	J	ENEOSマリンサービス(株)	鹿児島市	
製 造	J	(株)イースト朝日	鹿児島市	J	(株)川北電工 2名	薩摩川内市	
	L	エリエールペーパー(株) 2名	静 岡	J	(株)九電工	福 岡	
	M	京セラ(株)鹿児島国分工場	霧島市	M	三洋工機(株)	鹿児島市	
	L	京セラ(株)鹿児島川内工場	薩摩川内市	J	(株)スカイテック	東 京	
	A	コアレックス三栄(株)東京工場	神奈川	J	東京電力パワーグリッド(株)	東 京	
	M・J	独立行政法人国立印刷局 2名	東 京	M	西日本プラント工業(株)	福 岡	
	M	(株)高田工業所	福 岡	J	(株)日立ビルシステムエンジニアリング	東 京	
	L	都吹(株)	南九州市	A	(株)芙蓉商事	鹿児島市	
	M	テックス(株)	薩摩郡	J	(株)南九州電設	鹿児島市	
	M	東陽建設工機(株)福岡工場	福 岡	L	(株)鹿児島イエローハット	霧島市	
M	東洋製罐(株)茨木工場	大 阪	M	鹿児島県農業協同組合 中央会	鹿児島市		
J	(株)トッパンパッケージングプロダクツ	神奈川	J	(株)サカイ引越センター鹿児島支社	鹿児島市		
M	内海造船(株)	広 島	L	南薩食鳥(株)	南九州市		
J	(株)日本触媒	大 阪	J	学校法人 原田学園	鹿児島市		
M	パナソニックデバイスSUNX九州(株)	南さつま市	L	(株)ワークステーション 2名	兵 庫		
M	プレス工業(株)	神奈川	A	鹿児島県(建築職)	鹿児島県		
M	松元機工(株)	南九州市	M	東京消防庁(消防官Ⅲ類)	東 京		
M・A	三豊機工(株)鹿児島工場 2名	南九州市	A	南さつま市(消防職)	南さつま市		
L	山崎製パン(株)	東 京	A・M	陸上自衛隊(自衛官候補生) 2名			

## (2) 進学先一覧

(◎：職業能力開発短期大学校・高等技術専門学校 ●：専修・各種学校)

校種	科	学 校 名	所在地	校種	科	学 校 名	所在地
大 学	L	志學館大学 人間関係学部心理臨床学科	鹿児島市	専 修 ・ 各 種 学 校	M	麻生工科自動車大学校 2級自動車整備科	福 岡
	J	第一工業大学 工学部情報電子システム工学科	霧島市		J	大阪情報コンピュータ専門学校 情報処理系テクニカルコース	大 阪
	A	日本文理大学 工学部建築学科	大 分		L	鹿児島医療技術専門学校 言語聴覚療法学科	鹿児島市
短 期 大 学	L	鹿児島女子短期大学 児童教育学科 2名	鹿児島市		M・J	鹿児島医療技術専門学校 理学療法学科 2名	鹿児島市
	L	鹿児島女子短期大学 生活科学科	鹿児島市		M	鹿児島環境・情報専門学校 環境情報システム学科	鹿児島市
	L	鹿児島女子短期大学 教養学科 2名	鹿児島市		A	鹿児島キャリアデザイン専門学校 自動車整備科	鹿児島市
	L	鹿児島純心女子短期大学 生活学科	鹿児島市		L	鹿児島県美容専門学校 メイク&ブライダルコース 3名	鹿児島市
	L	鹿児島純心女子短期大学 英語科 2名	鹿児島市		A	鹿児島県理容美容専門学校 理容科ダブルライセンスコース 2名	鹿児島市
◎	M	川内職業能力開発短期大学校 生産技術科 2名	薩摩川内市		A	バンタンクリエイターアカデミー クリエイター総合	東 京
	M	鹿児島県立吹上高等技術専門学校 自動車工学科	日置市		L	福岡こども専門学校 保育科	福 岡
	A	鹿児島県立宮之城高等技術専門学校 建築工学科	薩摩郡		L	福岡南美容専門学校 トータルビューティー科	福 岡
●	A	麻生建築&デザイン専門学校 建築学科	福 岡		A・L	福岡リゾート&スポーツ専門学校 スポーツインストラクター科 2名	福 岡
	A	麻生建築&デザイン専門学校 建築工学科	福 岡		A	レコールバンタン パティシエコース	大 阪